



# 平成21年度 国有林野の管理経営に 関する基本計画の実施状況

国有林野事業では、国有林野の管理経営の基本方針を明らかにするため、あらかじめ国民の皆さんの意見を聴いた上で、「国有林野の管理経営に関する基本計画」を策定し、これに基づいて管理経営を行っています。

また、毎年、前年度における管理経営基本計画の実施状況を公表しており、このたび、平成21年度の実施状況を公表しました。

平成21年度は、平成21年4月から平成31年3月までを計画期間とする新しい管理経営基本計画の初年度に当たり、名実ともに開かれた「国民の森林」を実現していくための取組を推進しましたので、ご紹介します。



低コスト・高効率作業システムによる間伐の推進(長野県伊那市)▲



ミヤマキリシマが咲く由布鶴見岳自然休養林(大分県別府市ほか)▲  
中国・九州北部豪雨における民有林の災害復旧に対する支援(山口県防府市)▼



# ①公益的機能の維持増進

## 重視される機能に応じた管理 経営の推進

日本の国土の約2割を占める国有林野は、森林面積の約3割を占め、その多くは奥地脊梁山地や水源地域に分布しています。それらの森林は、国土や自然環境の保全、水源かん養等、公益的機能の発揮に大きな役割を果たしています。

国有林野事業では、公益的機能の維持増進を旨とする方針の下で、国民の皆さんの期待や要請に適切に対応す



育成複層林施業地の林内(高知県いの町)

るため、国有林野を重点的に発揮させるべき機能によって区分し、適切かつ効率的な管理経営を行っています。

国有林野の68%を占める「水土保持林」のうち、「国土保全タイプ」では、土砂崩れ等の山地災害や、潮害等の気象災害を防ぐことを目的に、間伐等の施業を行っています。「水源かん養タイプ」では、湧水や洪水の緩和等を目的として、健全な森林を保つために、100年程度の長い周期で伐採や植林をくり返す施業や、多様な林齢の樹木で構成される育成複層林施業等を推進しています。

嶺北れいほく森林管理署では、香川県や徳島県の水源となっている高知県いの町吾北地区ごほくの森林で、水源かん養機能の維持向上を図るための育成複層林施業を行っています。

国有林野の28%を占める「森林と人との共生林」のうち、「自然維持タイプ」では、特に原生的な森林生態系や貴重な動植物が生息・生育する等特別な保全・管理が必要な森林を対象に、保護林の設定を進めています。「森林空間利用タイプ」では、国民の皆さんが森林浴や野外スポーツ等の活

動を通じて森林とのふれあいを体験できる「レクリエーションの森」等を設定しています。

国有林野の4%を占める「資源の循環利用林」は、国民の皆さんの生活に必要な木材を安定的かつ効率的に供給するための森林です。木材の生産目標に応じて、更新、保育や間伐を進めるとともに、効率的な木材生産の基盤となる路網の整備も進めています。

## 路網の整備

路網の整備に当たっては、地形に沿った路網線形にすることで切土・盛土などの土工量や構造物の設置数を減少させるほか、現地で発生する木材



低コスト路網現地検討会の開催(福島県喜多方市)

や土石を土木資材として活用することで、コスト縮減等に努めています。このような取組については、率先して現地検討会を開催する等、民有林への普及にも取り組んでいます。

会津森林管理署では、会津流域林業活性化センターとともに、県や市町村、森林組合、林業事業者等を対象として、低コストで壊れにくい路網の現地検討会を開催しました。

## 治山事業の実施

安全で安心できる暮らしを確保することを目的に、荒廃地の復旧整備や保安林の整備を行う治山事業を計画的に進めています。また、民有林での山地災害発生時に、治山技術を有する職員等を現地に派遣し、災害復旧計画作成に向けた調査に協力するなど、迅速かつ円滑な災害対策を実施しました。

## 民有林との連携による森林・林業の活性化

地方公共団体や民有林所有者等と森林管理署等が協定を締結し、連携して森林整備を効率的に行う「森林共同施業団地」の設定を推進しました。平成21年度末現在、全国に46箇所設定されています。

## ② 森林環境教育や 森林とのふれあい等の推進

### 森林環境教育の推進

森林環境教育の場として国有林野を利用してきょうよう、プログラムの整備やフィールドの提供などに積極的に取



「遊々の森」を活用した森林環境教育の推進(北海道美唄市)

り組んでいます。

その一環として、学校等と森林管理署等とが協定を結び、国有林の豊かな森林環境を子どもたちに提供し、学校等が様々な自然体験や自然学習を進める「遊々の森」の設定を進めています。

空知森林管理署では、美唄市と協定を締結しており、平成21年度には、署及び市、北海道森林インストラクター会等から成る協議会が協力して、児童や保護者を対象にした森林教室を開催しました。

### 森林整備・保全への 国民参加

自ら森林づくりを行いたいという国民の皆さんの要望に応えるため、国有林野を森林づくりのフィールドとして提供する「ふれあいの森」の設定を進めています。平成21年度には、延べ1万2千人が「ふれあいの森」での森林づくり活動に参加しました。

## ③ 新たな政策課題への優先した取組

### 地球温暖化防止対策の推進

「京都議定書目標達成計画」等を踏まえ、多様で健全な森林の整備・保全や木材利用、国民参加の森林づくり等に率先して取り組んでいます。平成21年度は、約14万haの間伐を実施しました。

### 生物多様性の保全

国有林野は、原生的な天然林から人工林、湿原など多種多様な植生を有するとともに、希少種を含む様々な生物に生息・生育場所を提供する「種や遺伝子の保管庫」になっています。

保護林や「緑の回廊」の積極的な設定、適切な森林施業の実施による林分構造の多様性の確保など、適切な計画や整備、保全管理活動、的確なモニタリングとその結果に応じた計画等の柔軟な見直し(順応的な管理経営)を通じて、生物多様性の保全と持続的な利用の推進に積極的に取り組んでいます。

群馬森林管理署では、管内の国有林約2千haで、オオタカの保護と木材生産の両立に向けた取組を進めています。

す。平成21年度は、オオタカの行動圏調査、狩場となる皆伐跡地等での鳥類相調査等を行い、その結果等を踏まえて「オオタカモデル森林」を設定しました。

また、置賜森林管理署では、「吾妻山周辺森林生態系保護地域」等の保護林で、地域のボランティア団体等と連携し、高山植物の保護や湿原の植生回



吾妻山周辺森林生態系保護地域等におけるボランティアによる植生回復を促す作業(山形県米沢市)

復に取り組んでおり、平成21年度は、植生を守るための誘導ロープの設置や植生回復を促す作業を行いました。

## 鳥獣被害の防除

近年、シカによる森林植生への食害や樹木の剥皮等、鳥獣による森林・林業被害が深刻化しており、被害箇所の回復措置や、防護柵の設置、野生鳥獣の生息環境整備等を行っています。

中部森林管理局では、南アルプス、八ヶ岳、美ヶ原で、地元のシカ被害対策協議会等と連携し、二ホンシカとの棲み分け・共存を可能とする地域づくりに取り組んでいます。平成21年度は、防護柵の設置や国有林職員によるシカ捕獲を行いました。



国有林職員によるくくりワナの設置(長野県豊丘村)

## ④ 双方方向の情報受発信を基本とする対話型の取組

開かれた「国民の森林」としての管理経営や国民視点に立った行政を一層推進するため、双方方向の情報受発信による対話型の取組を進めています。

近畿中国森林管理局では、「国有林モニター会議」を開催し、箕面森林環境保全ふれあいセンターで取り組んで

いる「箕面体験学習の森」の視察や意見交換を行いました。

また、平成21年度から、新たに、「地域管理経営計画」策定に先立ち、住民の皆さんとの地域懇談会を開催し、出された意見を各計画に反映しました。

## ⑤ 林産物の持続的かつ計画的な供給

自然環境の保全等にも十分な配慮を行いながら、持続的・計画的な林産物の供給に努めており、平成21年度は、780万m<sup>3</sup>の木材を収穫しました。木材販売では、集成材・合板工場や大手住宅メーカーに納入している製材工場等、これまで主に外材を利用してきた大口の需要者に、原材料となる木材を安定的に供給する「システム販売」を推進しています。

磐城森林管理署では、これまで使用されずに林内に残されていた低質材等を有効活用するため、専用コンテナによる端材の効率的な回収に取り組んでいます。平成21年度は、端材を含めて

低質材約8千m<sup>3</sup>をシステム販売により供給しました。

また、平成20年秋以降の急速な景気悪化を背景とした新設住宅着工戸数の減少等により、木材の需要が大幅に減退し、木材価格も急速に下落したことから、地域の需給動向に応じた木材供給の調整を行いました。

九州森林管理局では、川上、川下の民有林関係者を含めた地域での意見交換会等を実施し、原木市場等への上半期の出材を年間総量の3割に抑制する一方、下半期は木材市況の回復や出材要請を受け、出材ペースを回復しました。

## ⑥ 効率的な事業の実施

伐採、造林等の事業については、そのほとんどを民間委託化するなど、効率的な事業運営に努めました。

収支改善努力の結果、前年度に引き続き新規借入金ゼロとし、収入が支出を73億円上回りました。

平成21年度国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況等は、以下のURLでご覧いただけます。

◎国有林野の管理経営に関する基本計画  
[http://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu\\_rinya/kanri\\_keiei/08kihon\\_keikaku.html](http://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/kanri_keiei/08kihon_keikaku.html)

◎平成21年度 国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況  
[http://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu\\_rinya/jissi/jyokyo\\_2009/index.html](http://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/jissi/jyokyo_2009/index.html)